

砕石・生コンクリートを生産販売

生活の基盤となる都市環境。その土台を担うのが建設材料です。当社は創業以来、建築・土木構造物の基幹となる砕石および生コンクリートの生産販売を通じて、国土開発に大きく貢献してきました。現在、本社工場、青土工場、リサイクル工場の3工場で、土木建築用の基礎材料を製造しています。



▲お話を伺った
稲塚社長

砕石の原石は、鈴鹿山系の土山

人と自然の調和をめざして
甲賀バラス株式会社

URL: <http://www.kouga-ballas.co.jp/>

町青土に確保した良質の天然資源、硬砂岩層の原石山から採取しており、量が求められる道路建設にも安定して供給することができます。建設資材として優れ、高品質・高強度を誇る当社の砕石やコンクリートは、新名神高速道路をはじめ、多くの道路や建物に使用されています。

環境に配慮しながら資源を有効利用

当社では、砕石採取跡地への植栽、建設廃材のリサイクル、砕石



▲生コンバッチャープラント

洗浄水の循環など、環境に配慮しながら限られた資源の有効利用に努めています。

近年、人間の快適な生活への夢や希望は大きく広がりに続いています。時代のニーズが高まるなか、質と量を安定させることで、あらゆる分野の骨材需要に対応し、快適な暮らしの創造に貢献していきます。

(代表取締役社長 稲塚正典氏談)

DATA

設立 昭和30年8月
従業員数 60名
所在地 土山町大野2850番地
TEL 67・0366
FAX 67・0611

甲賀市工業会についての問い合わせ

甲賀市工業会事務局(商工観光課)
TEL 65-0709 FAX 63-4087

*このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。



甲賀ボンジン ©2008 甲賀市工業会

編集後記

学校給食週間には各校で給食に感謝する行事が行われました。「大規模校にないほのぼのした給食の様子を」とのお誘いを受け、多羅尾小学校を訪ねてきました。

全校児童13人の同校では、普段から全員がランチルームに集まり、給食を囲んでいるそうです。下級生の隣に上級生が座り、先生方にも見守られて、みんなで一緒に食べることで食が進み、食べ残しや好き嫌いもないとお聞きました。

取材した日、給食に携わっておられる方を迎えてのランチタイムに私も加えていただきました。子どもにとっては毎日当たり前に出てくる給食かもしれませんが、久しぶりに味わった私には新鮮で、温かくてほっとする、素材の味が生きた給食でした。学校給食は子ども時代だけの特権、子どもたちには食べ物の命や作ってくださる人に感謝して味わってほしいものです。⑩

甲賀市の将来像

「人自然輝きつづける あい甲賀」

まちづくりの5つの目標

- 生活の安心感をみんなで育てる
- 自然環境を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ
- 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める
- 地域の特性を活かし、元気な産業を伸ばす
- たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

甲賀市総合計画基本構想

● 今月の納税等 ●

- 固定資産税(4期)
- 国民健康保険税(11期)
- 保育料・幼稚園使用料
- 介護保険料(11期)
- 後期高齢者医療保険料
- 水道料金・簡易水道料金

納期限は2月28日(月)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
TEL 0748-65-0650 FAX 0748-63-4554

甲南庁舎

甲賀市甲南町野田810番地
【上下水道部】
TEL 0748-86-8000 FAX 0748-86-8032
【教育委員会】
TEL 0748-86-8002 FAX 0748-86-8380

市民窓口センター

甲賀市水口町水口6053番地
TEL 0748-62-1621 FAX 0748-63-4086

土山支所

甲賀市土山町北土山1715番地
TEL 0748-66-1101 FAX 0748-66-1564

甲賀支所

甲賀市甲賀町相模173番地1
TEL 0748-88-4101 FAX 0748-88-3104

甲南支所

甲賀市甲南町野田810番地
TEL 0748-86-4161 FAX 0748-86-8029

信楽支所

甲賀市信楽町長野1203番地
TEL 0748-82-1121 FAX 0748-82-3415

「広報あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

『広報あいこうか』の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あい こうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報誌をめざします。

